

保存ダイアログが表示されますから、必要なパラメータを設定し、保存②をクリックします。

■名前

複数のファイルを選択しているためデフォルトでは、○個のトラックをパウンスとなっていますが、それぞれのファイル名はトラック名と同じになります。ただし、トラック名にピリオドがあると、ピリオド以後を無視します。

■保存フォーマット

STEP3のパウンス設定ダイアログの解説を参照してください。

■ビット数

パウンス設定ダイアログでの分解能同様の8/16/24ビットに加えて、極めて高精細な32ビット(浮動小数)も選べます。

■ソフトウェア音源をマルチ出力

ソフトウェア音源をマルチアウトで利用している場合に、トラックごとに1ファイル、チャンネルストリップごとに1ファイルのどちらかを選択できます。後者を選ぶとAuxチャンネルを使ってマルチアウトされたパートを別々に書き出すことができます。

■エフェクトプラグインをバイパス

チェックをつけるとエフェクト音を含まないダイレクト音のみで書き出します。他のDAWソフトへ受け渡して、そちらでエフェクトをかけたい場合にチェックをつけておきます。

■オーディオテールを含める

エフェクトやソフトウェア音源の余韻部分を含めてパウンスします。

■ボリューム/パンのオートメーションを含む

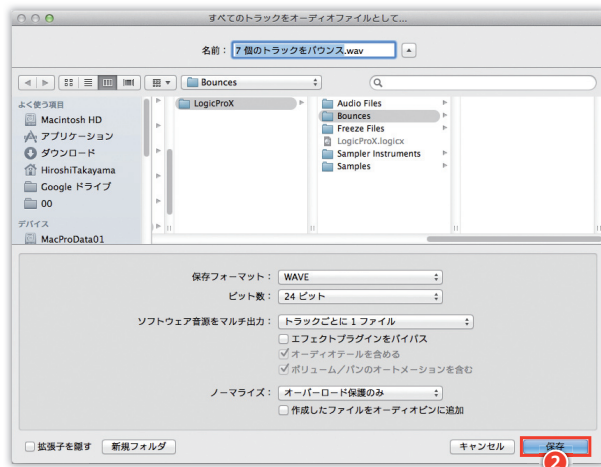
音量とパンのオートメーションを含めて書き出します。他のDAWソフトへの受け渡して、そちらでオートメーションを行いたい場合はチェックを外しておきます。

■ノーマライズ

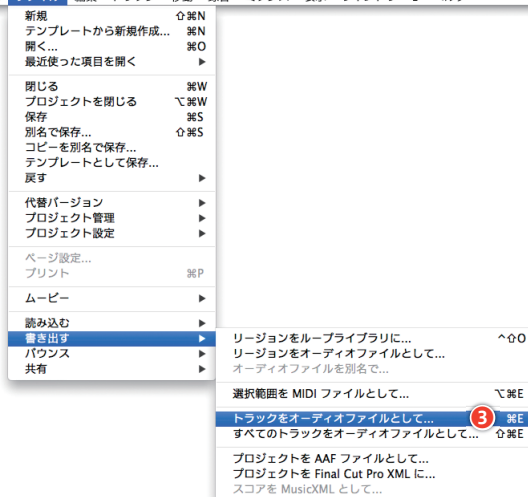
STEP3のパウンス設定ダイアログの解説を参照してください。

■作成したファイルをオーディオピンに追加

チェックすると、作成したファイルがプロジェクトオーディオブラウザに追加されます。



X ファイル 編集 トラック 移動 録音 ミックス 表示 ウィンドウ 1 ヘルプ



メインメニューからファイル→書き出す→トラックをオーディオファイルとして③を選ぶと現在選択しているトラックと、それらが使用しているAuxチャンネルの出力だけをだけを、リージョンをオーディオファイルとして④を選ぶと現在選択しているリージョンと、それらが使用しているAuxチャンネルの出力だけをオーディオファイルに書き出すことができます。

なお、これらのメニューはトラックやリージョンを選択していない場合はグレーアウトして選択できません。

📌 メインメニューからファイル→パウンス→トラックを所定の場所に選択すると、トラックやリージョンをそれぞれパウンスし、トラックへ置き換える作業が一気に行えます。

X ファイル 編集 トラック 移動 録音 ミックス 表示 ウィンドウ 1 ヘルプ

